

HS1C-P形 ドアロック付セーフティプラグユニット

セーフティプラグユニットにドアロック機能を付加し、安全管理をさらに充実。

- ・アクチュエータを防護扉に、安全スイッチを機械本体に取り付けて、防護扉を機械的に自動ロック。
- ・セーフティプラグ取外しにより、負荷回路や制御回路の遮断状態を保持。
- ・ソレノイド付タイプとソレノイド無しタイプの2機種を完備。
- ・ソレノイド付タイプは、機械動作中はプラグの取外し不可能、機械停止後、ソレノイド励磁信号により取外し可能となるロック機能付き。
- ・アクチュエータの挿入は2方向から可能で、多様な取付けに対応。
- ・本体は堅牢なアルミダイカスト製。



● 規格認証製品の詳細は弊社ホームページをご覧ください。



□ 種類 [形番]

本体

販売単位：1個

ソレノイドの有無	形番 (ご注文形番)
ソレノイド付 (DC24V)	HS1C-P44Z-※
ソレノイドなし	HS1C-P04Z-※

- ・形番の※には表示灯の記号が入ります。赤 (R)、緑 (G)
- ・トルクスねじ用特殊レンチ (HS9Z-T1形) は本体に付属しています。
- ・アクチュエータは付属していませんので、所定の形番でご注文ください。

アクチュエータ、トルクスねじ特殊レンチ

販売単位：1個

名称	形番 (ご注文形番)
ストレートタイプ	HS9Z-A1
Lタイプ	HS9Z-A2
可動タイプ	HS9Z-A3
トルクスねじ特殊レンチ	HS9Z-T1

□ 定格

回路

	形番	HS1C-P44Z	HS1C-P04Z
メイン回路	定格絶縁電圧 (Ui)	250V	250V
	定格通電電流 (Ith)	10A	10A
モニタ回路	定格絶縁電圧 (Ui)	250V	250V
	定格通電電流 (Ith)	3A	3A
	定格使用電圧 (Ue)	250V	250V
		0.1A (AC250V/DC30V) (抵抗負荷)	3A (AC250V/DC30V) (抵抗負荷)
	定格使用電流 (Ie)		

ソレノイド部

定格使用電圧	DC24V (100% duty cycle)
定格電流	260mA
コイル抵抗	95Ω (at20°C)
動作電圧	定格電圧×90%以下 (at20°C)
復帰電圧	定格電圧×10%以上 (at20°C)
最大連続印加電圧	定格電圧×110%
最大連続印加時間	連続
消費電力	6.3W

表示灯部

定格使用電圧	DC24V
定格電流	10mA
光源の種類	LED球
レンズ色	R (赤)、G (緑)

- ・レンズの交換はできません。

□ 性能仕様

適用規格	メイン回路	UL508 (ULリスティング認証) CSA C22.2 No.14 (c-ULリスティング認証) UL498 CSA C22.2 No.182.1
	モニタ回路	UL508 (ULリスティング認証) CSA C22.2 No.14 (c-ULリスティング認証)
	用途規格	EN1088
標準使用状態	使用周囲温度：-20～+50°C(ただし、氷結しないこと) 相対湿度：45～85%(ただし、結露しないこと) 保存周囲温度：-40～+80°C(ただし、氷結しないこと) 使用環境：汚染度3	
絶縁抵抗	100MΩ以上 (DC500Vメガにて)	
接触抵抗	100mΩ以下 (初期値)	
耐電圧	充電金属部と非充電金属部間 2000V、1分間 開路状態における同極端子間 1000V、1分間	
耐衝撃	耐久：1000m/s ²	
耐振動	誤動作：10～55Hz 片振幅：0.5mm 耐久：30Hz 片振幅：1.5mm	
操作頻度	900回/時 (アクチュエータ、プラグ共)	
機械的耐久性	3万回以上 (アクチュエータ、プラグ共)	
ロック時のアクチュエータ引張強度	1500N以上	
ロック時のセーフティプラグ回転強度	5N・m	
取付ねじ	M5 4本	
質量 (約)	720g (HS1C-P44Z-※形の場合)	

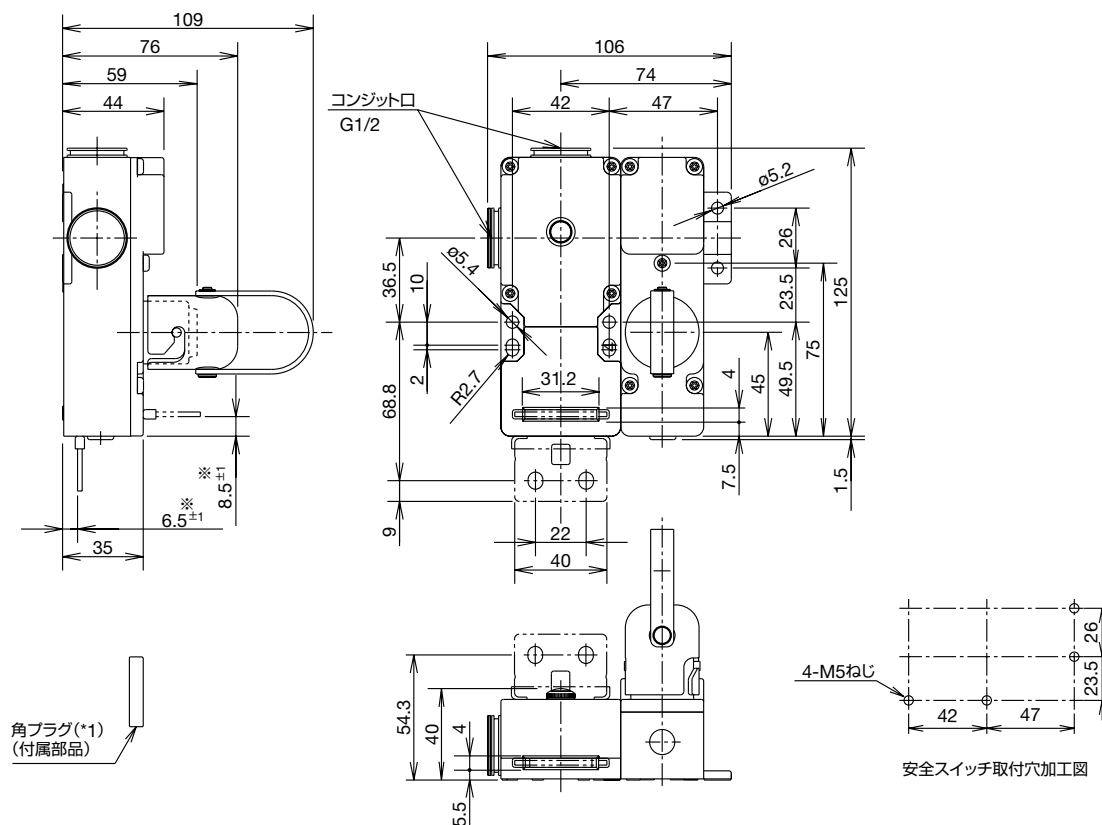
□ 形番構成

HS1C - P 4 4 Z - R

- 表示灯色：R (赤)、G (緑)
- 本体色：Z (ベージュ)
- 表示灯定格電圧：4 (DC24V)
- ソレノイドの有無：4 (有)、0 (無)

□ 外形寸法図

(単位: mm)



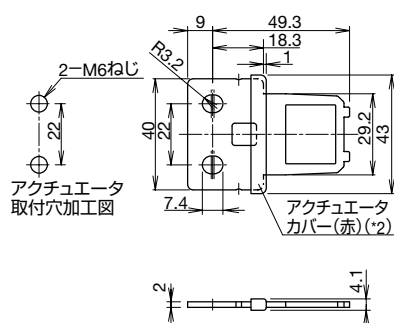
*1) 2方向のアクチュエータ挿入口のうち、使用しない方の挿入口は、付属の角プラグでふさいでください。

● 安全スイッチの取付けは必ず取付穴寸法に従い4点ねじ止め固定を行ってください。

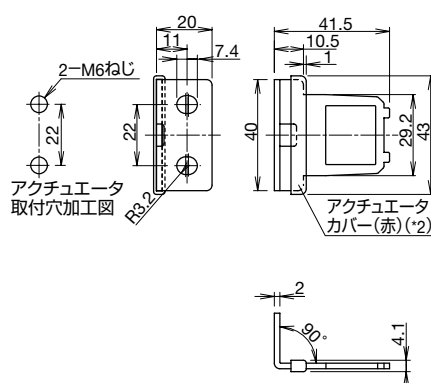
※ アクチュエータセンター位置

□ アクチュエータの外形寸法図

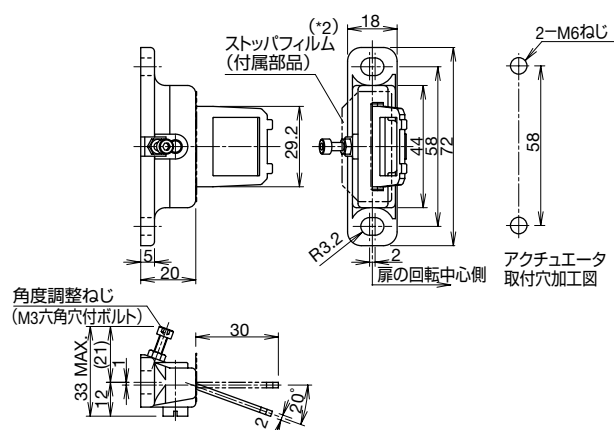
ストレートタイプ (HS9Z-A1形)



Lタイプ (HS9Z-A2形)



可動タイプ (HS9Z-A3形)



*2) アクチュエータカバーおよびストップフィルムはアクチュエータの位置決めのための部品であり、固定した後は外してください。

□ 動作回路および動作サイクル例

ソレノイド付

安全 スイッチ 動作状態	・扉が閉じている状態 ・プラグを装着している 状態 ・ソレノイドは無励磁	・扉が閉じている状態 ・プラグを装着している 状態 ・ソレノイドは励磁	・扉が閉じている状態 ・プラグを取り外した状態 ・ソレノイドは励磁	・扉が閉じている状態 ・プラグを取り外した状態 ・ソレノイドは無励磁	・扉が開いている状態 ・プラグを取り外した状態 ・ソレノイドは無励磁
扉の 状態図					
回路図					
メイン回路	・3-4間 閉	・3-4間 閉	・3-4間 開	・3-4間 開	・3-4間 開
モニタ回路	・1-2間 開	・1-2間 閉	・1-2間 閉	・1-2間 閉	・1-2間 閉
ソレノイド電源	・5-6間 電源オフ	・5-6間 電源オン	・5-6間 電源オン	・5-6間 電源オフ	・5-6間 電源オフ
備考	・扉はロックされている ・プラグは抜けない (回らない) ・機械は運転可能状態	・扉はロックされている ・プラグは回せば抜ける 状態 ・機械は運転可能状態	・扉は手で開けられる状態 ・プラグは抜けている ・機械は運転不可能状態	・扉は手で開けられる状態 ・プラグは抜けている ・機械は運転不可能状態	・機械は運転不可能状態

ソレノイド無

安全 スイッチ 動作状態	・扉が閉じている状態 ・プラグを装着している 状態	・扉が閉じている状態 ・プラグを取り外した状態	・扉が開いている状態 ・プラグを取り外した状態
扉の 状態図			
回路図			
メイン回路	・3-4間 閉	・3-4間 開	・3-4間 開
モニタ回路	・1-2間 開	・1-2間 開	・1-2間 閉
備考	・扉はロックされている ・プラグは回せば抜ける 状態 ・機械は運転可能状態	・扉は手で開けられる状態 ・プラグは抜けている ・機械は運転不可能状態	・プラグは抜けている ・機械は運転不可能状態

⚠ 安全に関するご注意

- ドアロック付セーフティプラグユニットは、水や油などのかからない位置に取り付けてください。特にプラグ部分に水や油などが付着した状態で操作しますと、感電・火災の恐れがあります。
- ドアロック付セーフティプラグユニットは、プラグ部を携帯する作業者の安全を守ることが第一の目的です。万一1つの本体部に対して複数のプラグが存在すると、ホステッジコントロールとしての機能が損なわれ、かえって作業者は危険な状態におかれる恐れがあります。ご使用の際は用途を明確にし、ドアロック付セーフティプラグユニットの機能を損なわないよう安全管理を徹底してください。

理を徹底してください。

- 取付け、取外し、配線作業および保守・点検は必ず電源を切って行ってください。感電および火災の危険があります。
- 分解、改造ならびにドアロック付セーフティプラグユニットの機能を故意に停止させるようなことは絶対に行わないでください。故障や事故の原因となります。
- アクチュエータはドア開閉時に身体へ接触しない箇所へ取り付けてください。傷害の恐れがあります。

使用上のご注意

- HS1P形のプラグは、弊社製品HS2P形盤面取付セーフティプラグと類似していますが、相互間の操作互換性をなくしております。異機種のプラグによる無理な操作は、本体破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。

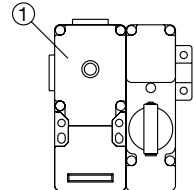
機種別のプラグは取手色で判別することができます。

・HS1P形ドアロック付セーフティプラグユニット

(取手色：黒色) = HS1C-P形

・HS2P形盤面取付セーフティプラグ (取手色：アルミ地色)

- 扉の種類に関わらず、セーフティプラグユニットを扉のストッパとして使用しないでください。扉の終端部には機械的なドアストッパを設け、セーフティプラグユニットに過剰な力が掛からないようにしてください。特にプラグを外す方向に力を加えるなどプラグに過剰な力が加わった状態では、ソレノイドに電源が入力されても正しくソレノイドが動作せずロック解除しないことがあります。
- 乱暴な扉の開閉により、セーフティプラグユニットに過剰な衝撃を与えないでください。セーフティプラグユニットに1000m/s²以上の衝撃が加わると故障の原因となります。
- 扉の種類に関わらず、セーフティプラグユニットを扉のロック装置として使用しないでください。ロック装置はフック金具を使った方法などにより別途設けてください。
- ソレノイドには極性があります。電圧を逆に印加するとソレノイドが破損しますので、絶対に避けてください。また定格を超える電圧印加は、ソレノイドの焼損のおそれがあるため、絶対に避けてください。
- 配線時、セーフティプラグユニットのふたを開ける際は、ふた①のみ開けてください。



- セーフティプラグユニットのふた取付ねじは特殊ねじを使っており、一般のドライバー等では操作できません。ふたの取り外し、取付時はセーフティプラグユニット付属の専用レンチをお使いください。
- コンジット口には、異物・ホコリ・水などが入らないように配管してください。
- 異物・ホコリなどの多い場所でセーフティプラグユニットをお使いになられる場合は、保護カバーを設けるなどにより、極力異物、ホコリなどがアクチュエータ挿入口からセーフティプラグユニット内に入らないようにしてください。セーフティプラグユニット内に多量の異物・ホコリなどが入ると、機械部分に影響を与える可能性があります。故障の原因となります。

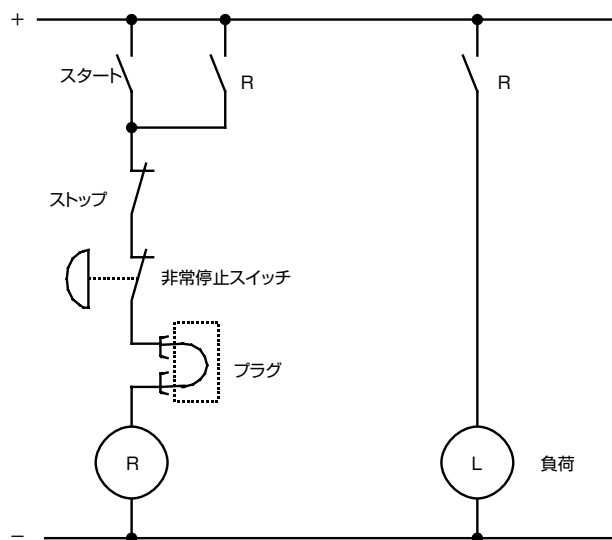
- 安全スイッチのロック強度使用は静荷重で1500Nです。ロック強度仕様値を超える荷重が加わらないようにしてください。万一、安全スイッチにロック強度仕様値を超える負荷が予想される場合は、別のロックなし安全スイッチ (HS5D形安全スイッチなど) やセンサなどによって扉の開放を検出し、機械が停止するシステムを追加してください。

- 使用されないアクチュエータ挿入口は、セーフティプラグユニット付属の角プラグで挿入口を塞いでください。

- ホコリ・湿気が多い場所、有機ガスが存在している場所、直射日光の当たる場所でのセーフティプラグユニットの保管は避けてください。

- プラグの着脱は、必ず無通电の状態で (下の「安全プラグ使用回路例」で非常停止ボタンの操作後) 行ってください。プラグ着脱による機械のオン・オフは故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

セーフティプラグユニット使用回路例



- メイン回路を交流でご使用の場合は、非常停止ボタンはLine側、セーフティプラグユニットはNeutral側に配線してください。
- 直流回路にご使用の場合は、上図のように非常停止スイッチとセーフティプラグユニットの順に+ライン側に配線してください。

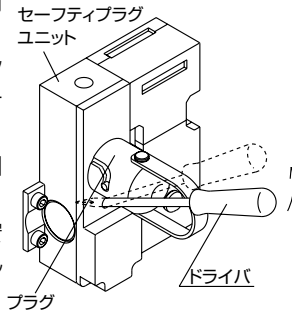
使用上のご注意

□ 手動ロック解除の方法

- 配線前および通電前の取付確認、または停電等の非常時のため、プラグのロック解除を手動で行うことができます。

プラグのロック解除（手動）

- ①セーフティプラグユニットの前面のねじを専用工具で外し、精密ドライバ等でプラグがロック解除するまで内部のレバーを表示側へ押してください。
- ②①の状態のままプラグを回し、外してください。
- ③確認等が終了した場合は、安全のために必ずねじを元に戻しておいてください。



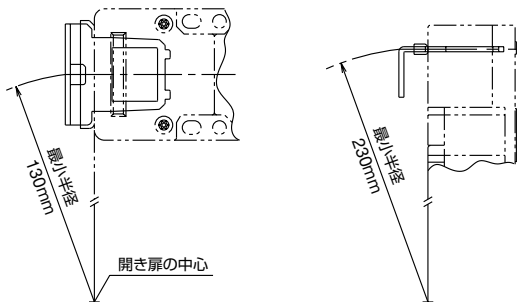
□ 開き扉の最小半径について

セーフティプラグユニットを開き扉に使用する場合、使用可能な扉の最小半径は下図のようになります。特に回転半径の小さい扉には可動式アクチュエータ（HS9Z-A3形）をご使用ください。

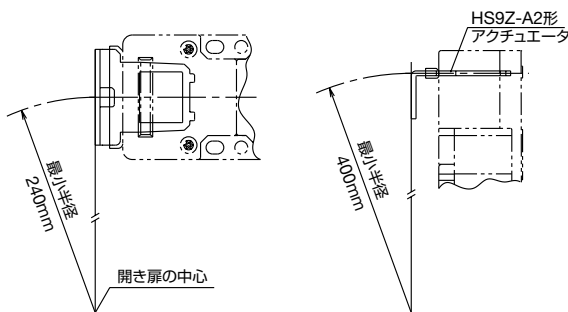
注）下図に示す値は、扉の開閉時にアクチュエータがセーフティプラグユニット本体と干渉しないことを前提としています。実際の開き扉においては、ガタツキや中心位置のずれが考えられますので、ご使用前に必ず実機取付けにて動作をご確認ください。

固定式アクチュエータ・HS9Z-A2形使用時

- 開き扉の中心を安全スイッチ接触面基準とした場合

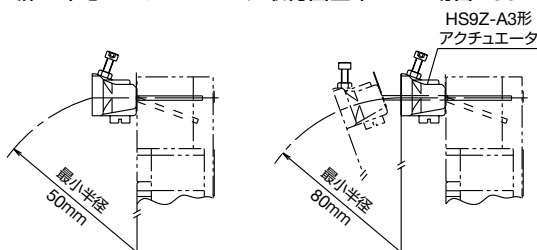


- 開き扉の中心をアクチュエータ取付面基準とした場合



可動式アクチュエータ・HS9Z-A3形使用時

- 開き扉の中心を安全スイッチ接触面基準とした場合：50mm
- 開き扉の中心をアクチュエータ取付面基準とした場合：80mm

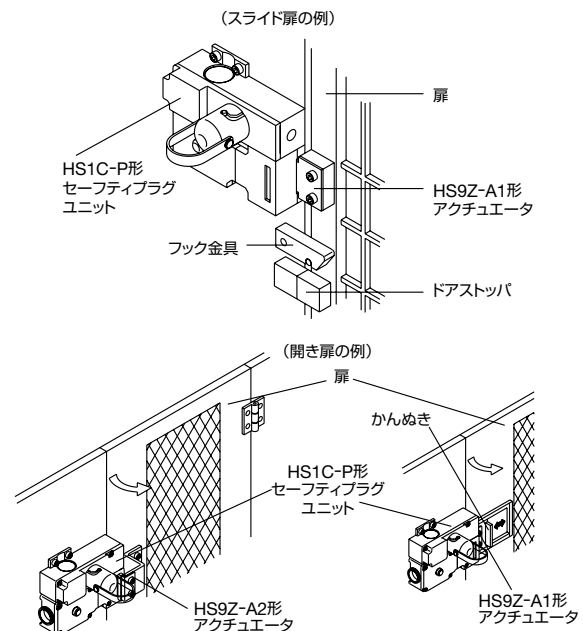


可動式アクチュエータの角度調整について

- 角度調整ねじ（M3六角穴付ボルト）の設定により、アクチュエータ角度の調整が可能です。（外形図参照：P2 記載）
調整角度範囲：0～20°
- アクチュエータ角度が大きいくほど開き扉の対応可能半径は小さくなります。アクチュエータを取り付けた後、いったん扉を開いて、アクチュエータの先端が安全スイッチのアクチュエータ挿入口に入るように調整してください。
- 角度調整ねじ推奨締付トルク：0.8N・m
- アクチュエータ角度調整後は、角度調整ねじにねじロックなどの適当な緩み止め処理を施してください。

□ セーフティプラグユニットの取付け方法

- 取付けは下図を参考にしてください。
- セーフティプラグユニットは固定された機械設備本体やガードへ、アクチュエータは可動扉に取り付けてください。セーフティプラグおよびアクチュエータの両方を可動扉へ取り付ける使い方は避けてください。故障の原因となります。



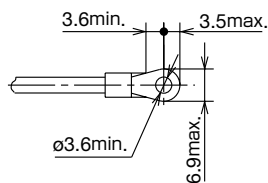
□ 取付ねじ推奨締付トルクについて

- 本体：4.5～5.5N・m（M5ねじ4本）
- 端子No.1～6端子ねじ（M3）0.4～0.6N・m
- 端子No.7,8端子ねじ（M3.5）0.9～1.1N・m
- アクチュエータ（HS9Z-A1/A2/A3形）
4.5～5.5N・m（M6ねじ2本）
- 取付ねじはお客様にてご用意ください。
- 上記の取付ねじ推奨締付トルクは、六角穴付きボルトにて確認した値です。他のねじを使用して上記値に満たない場合は、取付け後のゆるみなどについて充分ご確認ください。
- セーフティプラグユニットおよびアクチュエータを容易に取り外されないようにするためには、一方向のねじや特殊工具を必要とするねじにて取付けるか、溶接やリベットなど一般工具で取り外すことができない取付けを推奨します。

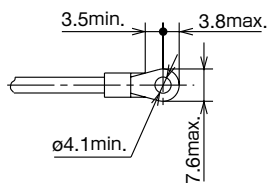
使用上のご注意

□ 適合圧着端子について

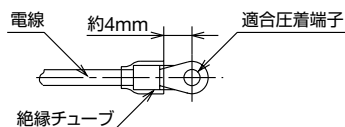
(端子No.7, 8)



(アース端子:E)



- 圧着端子をご使用の際は、必ず絶縁チューブを取り付けてください。



(端子1~6)

- 単線またはより線の直接配線
- より線の場合、芯線のヒゲ線による隣接極の短絡にご注意ください。なお、ヒゲ線防止のためのはんだづけ処理は行わないでください。
- 棒端子使用の場合
- 推奨棒端子 (Phoenix Contact社製)

形式	適合電線
AI 0.75-8 GY	0.5~0.75mm ²
AI 1.0-8 RD	0.75~1.0mm ²
AI 1.5-8 BK	1.0~1.5mm ²

圧着工具: CRIMPFOX UD6

□ 適合電線サイズ

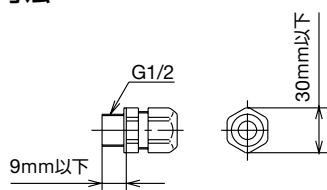
端子No.: 1, 2, 5, 6, 7, 8=0.5~0.75mm²

端子No.: 3, 4, E=1.0~1.25mm²

□ 適合コネクタについて

IP67の性能を保持できるコネクタをお使いください。

適合コネクタ寸法



フレキシブルコンジット使用の場合 (代表例)

フレキシブルコンジット: VF-03 (日本フレックス製)

コンジット口サイズ	樹脂コネクタ	金属コネクタ
G1/2	—	RLC-103 (日本フレックス製)

多芯ケーブル使用の場合 (代表例)

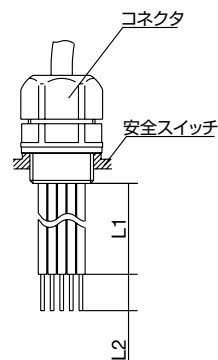
コンジット口サイズ	樹脂コネクタ	金属コネクタ
G1/2	SCS-10□ (星和電機製)	ALS-16 (日本フレックス製)

- 多芯ケーブル用コネクタは、ケーブルのシース外径サイズによって形式が異なります。コネクタをご購入される際、よくご確認の上ご購入ください。

□ 引込電線長さおよび配線例

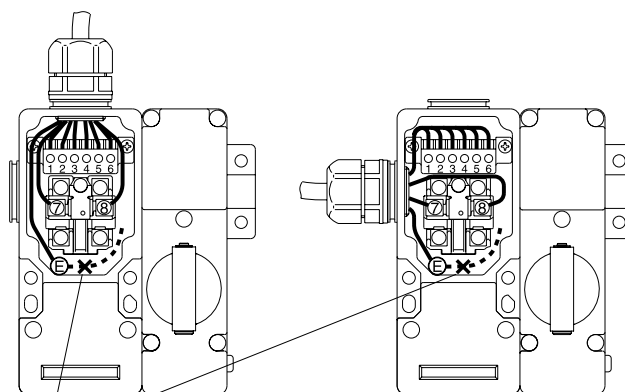
端子No.	使用コンジット口	
	①	②
1	30±2	45±2
2	30±2	50±2
3	25±2	55±2
4	25±2	60±2
5	30±2	65±2
6	30±2	70±2
7	65±2	35±2
8	65±2	110±2
E	85±2	45±2
電線の長さ L1 (mm)		
電線のむき長さ L2 (mm)	7±1	

- 安全スイッチの配線は、下記配線例を参考に行ってください。



形式: HS1C-P、
コンジット口①使用の場合

形式: HS1C-P、
コンジット口②使用の場合



注) アース(E)端子に配線する際は上図の実線のとおりとし、破線方向には配線しないでください。

ご注文・ご使用に際してのご承諾事項

平素は弊社販売の製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
弊社発行のカタログ・仕様書等（以下「カタログ類」と総称します）に記載された製品をご注文いただく際、下記ご承諾事項に記載の条件等を適用いたします。これらの内容をご確認・ご承諾のうえご注文ください。

1. カタログ類の記載内容についての注意事項

- (1) 本カタログに記載の弊社製品の定格値、性能値、仕様値は、単独検査における各条件のもとで得られた値であり、複合条件のもとで得られる値を保証するものではありません。
また、使用環境、使用条件によって耐久性が異なります。
- (2) カタログ類に記載の参考データ、参考値はご参考用ですので、その範囲で常に正常に動作することを保証するものではありません。
- (3) カタログ類に記載の弊社製品の仕様・外観および付属品は、改善またはその他の事由により、予告なしに変更や販売の中止をすることがあります。
- (4) カタログ類の記載内容は予告なしに変更することがあります。

2. 用途についての注意事項

- (1) 弊社製品を他の製品と組み合わせて使用される場合、適合すべき法規・規制または規格をご確認ください。
また、お客様が使用されるシステム、機械、装置等への弊社製品の適合性は、実使用条件にてお客様ご自身でご確認ください。弊社は、弊社製品との適合性について責任を一切負いません。
- (2) カタログ類に記載の利用事例、アプリケーション事例はご参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置等の性能や安全性をご確認のうえ、ご使用ください。また、これらの事例について、弊社製品を使用する権利をお客様に許諾するものではなく、知的財産権を保有することや第三者の知的財産権を侵害しないことを弊社が保証するものではありません。
- (3) 弊社製品をご使用の際には、次に掲げる事項に十分注意して実施してください。
 - ① 定格および性能に対し余裕のある弊社製品の利用
 - ② 弊社製品が故障しても他に危険や損害を生じさせない冗長設計、誤動作防止設計などの安全設計
 - ③ お客様のシステム、機械、装置等に使用される弊社製品が、仕様どおりの性能、機能を発揮できるように、配電、設置されていること
- (4) 性能が劣化した状態で弊社製品を引き続き使用されますと、絶縁劣化等により異常発熱、発煙、発火等のおそれがあります。弊社製品、およびそれを使用したシステム、機械、装置等の定期的な保守を行ってください。
- (5) 弊社製品は、一般工業製品向けの汎用品として開発、製造された製品です。次に掲げる用途での使用は意図しておらず、お客様がこれらの用途で弊社製品を使用した場合、お客様と弊社との間で別途の合意がない限り、弊社は弊社製品について一切保証いたしません。
 - ① 原子力制御設備、輸送設備（鉄道・航空・船舶・車両・乗用機器など）、宇宙設備、昇降設備、医療機器、安全装置、その他生命・身体に危険を及ぼす可能性のある設備・機器など高度な安全性が要求される用途での使用
 - ② ガス・水道・電気等の供給システム、24時間連続運転システム、決済システムなど高度な信頼性が要求される用途での使用
 - ③ 屋外での設備、化学的汚染または電磁的な影響を受ける可能性のある環境での用途など、カタログ類に記載された仕様や条件・環境の範囲を逸脱して取り扱われる、または使用される可能性のある用途での使用
なお、お客様が上記の用途での使用を望まれる場合には、必ず弊社の営業窓口までご相談をお願いいたします。

3. 検査

ご購入いただきました弊社製品につきましては、遅滞なく検査を行っていただくとともに、検査前または検査中の取り扱いにつきましては、管理保全に十分にご留意ください。

4. 保証内容

(1) 保証期間

弊社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年間といたします。ただし、カタログ類に別途の記載がある場合やお客様と弊社との間で別途の合意がある場合は、この限りではありません。

(2) 保証範囲

上記保証期間中に弊社側の責により弊社製品に故障が生じた場合は、その製品の交換または修理を、その製品のご購入場所・納入場所、または弊社サービス拠点において無償で実施いたします。ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- ① カタログ類に記載されている条件・環境の範囲を逸脱した取り扱いまたは使用による場合
- ② 弊社製品以外の原因の場合
- ③ 弊社以外による改造または修理による場合
- ④ 弊社以外の者によるソフトウェアプログラムによる場合
- ⑤ 弊社製品本来の使い方以外の使用による場合
- ⑥ 取扱説明書、カタログ類の記載に従って、保守部品の交換、アクセサリ類の取り付けなどが正しくされていなかったことによる場合
- ⑦ 弊社からの出荷当時の科学・技術の水準では予見できなかった場合
- ⑧ その他弊社側の責ではない原因による場合（天災、災害など不可抗力による場合を含む）

なお、ここでの保証は、弊社製品単体の保証を意味するもので、弊社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

5. 責任の制限

本ご承諾事項に記載の保証が弊社製品に関する保証のすべてであり、また、弊社は、弊社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、付随的損害、または消極損害に関して、一切の責任を負いません。

6. サービス範囲

弊社製品の価格には、技術者派遣等のサービス費用は含んでおりませんので、次の場合は別途費用が必要となります。

- (1) 取付調整指導および試運転立ち合い（アプリケーション用ソフトの作成、動作試験等を含む）
- (2) 保守点検、調整および修理
- (3) 技術指導および技術教育
- (4) お客様のご指定による製品試験または検査

7. 輸出管理

弊社製品または技術資料を輸出または非居住者に提供する場合、安全保障貿易管理に関する日本および関係各国の法令・規制に従ってください。

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提とするものです。日本以外での取引及びご使用に関しては弊社の営業窓口までご相談をお願いいたします。また、海外のみで販売している弊社製品に関する保証は日本国内では一切行いません。

IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

 www.idec.com/japan

 **0120-992-336** 携帯電話・PHSの場合 050-8882-5843

- ・記載されている社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合があります。



東京営業所 〒108-6014 東京都港区港南2-15-1(品川インターシティA棟14F)
名古屋営業所 〒464-0850 名古屋市中区千種区今池4-1-29(ニッセイ今池ビル)
大阪営業所 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64
広島営業所 〒730-0051 広島市中区大手町4-6-16(山陽ビル)
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1(ノリツビル福岡)